■東京都／新宿区立戸塚第三小学校

●夢いっぱいで
笑顔が絶えない学校

多くの取組、体験活動で豊かな心を育み 子供たちの将来の夢や希望につなげる…



日本の伝統文化を継承する「茶道体験」は５年生の活動。お茶を点てる、お茶を飲むグループに分かれて、その両方を体験する



正門前の石碑に刻まれた言葉に子供たちが励まされる

地域協働学校として、教育活動に真摯に取り組み、東京オリ・パラ教育アワード校として障害者スポーツを体験。日本の伝統文化の継承、神田川の環境教育などの活動で、よく考える、思いやりのある、たくましい子を育てる。

写真：新宿区立戸塚第三小学校　文：新宿区立戸塚第三小学校校長　立野文雄

夢いっぱい笑顔がつづく　戸三小

右の言葉は本校正門にある石碑に刻まれており、子供たちを毎日励ましています。

本校は、大正15年に戸塚第三尋常小学校として開校し、今年度で95年目を迎えました。ＪＲ山手線、地下鉄東西線、西武新宿線の３つの鉄道が合流する、高田馬場駅から徒歩８分の閑静な住宅街に位置します。

校歌に「神田の流れ　水清らかに　富士は野末に　真白くそびゆ～」とあるように、学校のすぐそばを神田川が流れており、春には桜の花が見事に咲き誇っています。

また、有名な人気漫画家であった故手塚治虫さんの、手塚プロダクションが学区内にあるご縁で、鉄腕アトムが新宿区特別児童として入学式に参列したこともあります。

教育目標に「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」を掲げ、日々の教育活動を実践しています。

地域と連携した特色ある教育

本校には、地域協働学校として「学習」「安全安心」「環境美化」の３つの支援部があります。地域や関係機関等のご支援をいただきながら、教育活動を推進しています。

★日本の伝統文化「茶道体験」

学校の近くに、茶道会館という文化的にも価値の高い数寄屋造りの建物があります。周りは木々に囲まれ、特に秋は紅葉が美しく、都会にいることを忘れるほどすてきな所です。その茶道会館で、５年生が茶道体験をさせ



なんと、入学式に
鉄腕アトムが！

伝統文化「茶道」体験



茶道会館の露地にある、つくばいで手を清める



にじり口から茶室に入ると身も引き締まる

心でつながれ！ SHUWA ダンス



地域の方から手話とダンスを教わる



運動会で SHUWA ダンスを披露する3、4年生

地域清掃活動



学区内にある公園で清掃活動を実施

ていただいています。にじり口から茶室に入り、お茶を点てるグループと、飲むグループに分かれて、その両方を体験します。子供たちは、初めて口にする和菓子の甘さと抹茶の苦さに驚きながらも、おいしそうにいただいていました。

凛とした雰囲気の中、日本の伝統文化には、相手をもてなす心遣いや作法などがあることを学びます。

★地域清掃活動～地域の方々とともに～

本校は集団登校の組織として、全校児童を8つの地区別班に編制しています。その班ごとに、毎年2回の地域清掃を実施しています。

1回目は、5月30日に新宿区で行われる「新宿区一斉道路美化清掃」（ごみゼロデー）に合わせて実施しています。2回目は、落ち葉の多い秋に実施しています。

地域や保護者の方々と一緒に身近な場所を清掃し、地域社会の一員としての自覚や地域を愛する心情を培うことを目的としています。

地域の方々は、毎回子供たちとの交流を楽しみに、喜んで参加してくださっています。

★心でつながれ！ SHUWAダンス

このタイトルは、運動会で3、4年生が手話ダンスを披露したときのプログラム名です。4年生は、総合的な学習の時間に障害者理解教育を行っています。

学習の一環で、地域の方から手話とダンスを教えていただきました。手話を学ぶことを通して、障害者の方の大変さだけでなく、前向きに頑張っていらっしゃることを学ぶことができました。

■東京都／新宿区立戸塚第三小学校

神田川ファンクラブ活動


神田川に入ってごみを拾う児童たち


←神田川の源流となる井の頭公園まで遠征


神田川に生息する生き物を調査


ふだん見ることのできない地下貯水池（トンネル）を見学

模擬選挙


→自分が所属する党の主張を発表する6年生（模擬選挙）


→みんなで投票も行う（模擬選挙）


オリ・パラ教育推進で、なわ跳び検定も実施（写真はリズムなわ跳び）

また、東京パラリンピックを控えて、障害者の方との交流も行いました。

手話とダンスの融合を工夫しながら表現し、みんなの心がつながることを願っています。

★神田川FCの活動を契機とした環境教育

新宿区みどり公園課が主管する、神田川FC（ファンクラブ）の活動に、20年以上にわたって毎年4年生が参加しています。

神田川FCは、神田川について区民が楽しみながら学び、知識と関心を深めながら神田川に親しむことを目的に結成されました。児童は、川のごみ拾い、水質や生き物の調査、水源（井の頭公園）の見学などを行っています。この活動を契機として、自分たちの生活と環境問題とのつながりを自覚します。

ここ数年は、「マイクロプラスチックごみの問題」「マングローブの海を守ること」など、SDGs（持続可能な開発目標）に関する内容にも発展してきました。

また、6年生が実施している区選挙管理委員会主催の模擬選挙では、神田川FCの活動をもとに「高田馬場をよりよくするために」をテーマに、活発な討論につながりました。

東京オリ・パラ教育アワード校として

東京都のオリンピック・パラリンピック教育アワード校として、オリ・パラ教育を推進しています。PTAと連携したクラス対抗の「長なわ大会」、全校児童がスポーツなわ跳びを用いた「なわ跳び検定」なども実施しています。そのほか、いくつかの体験活動を紹介します。

■東京都／新宿区立戸塚第三小学校

ブラインドサッカー体験は４年生の取組



障害者スポーツ体験



パラリンピックの種目、ボッチャに挑戦する２年生

日本の伝統文化を継承



伝統文化体験で狂言を教わる



落語家さんに教わった演目を披露



日本舞踊も体験。浴衣姿がかわいい



伝統的な手品である和妻を体験する

東京都新宿区立戸塚第三小学校（立野文雄校長／児童数 205 名）
〒 169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-18-21
TEL. 03-3227-2101　FAX. 03-3227-1942
URL = https://www.shinjuku.ed.jp/es-totsuka3/

★日本の伝統文化体験～伝統文化の継承～

新宿区では、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした伝統文化理解教育を実施しています。

日本の伝統文化の体験を通し、児童が郷土である新宿に愛着をもち、伝統文化の継承や地域の発展に寄与したいと思う気持ちを育むことをねらいとしています。

能楽（狂言）、落語、手品（和妻）、日本舞踊を年度ごとに１つの内容を実施し、４年間で全ての内容を体験するというものです。本校では、毎年５年生が体験しています。

★障害者スポーツ体験～より身近に～

障害者スポーツ体験として、総合的な学習の時間に、４年生がブラインドサッカーの体験を行っています。障害者の方はもちろん、身の回りの人々の気持ちを考え、自分自身の生活や生き方について振り返っています。

そのほかに、２年生がボッチャなどのパラリンピック種目を体験したり、活動されている方の話を伺ったりするなど、人と触れ合う体験を取り入れています。

地域とともに夢と笑顔を！

～夢をもち、笑顔あふれる子供たちに～

地域には、「子供を守る学校と地域の会」が組織されているなど、子供たちを地域で大切に育もうとする伝統が根づいています。

東京都新宿区という都会ではありますが、人情味あふれる落ち着いた環境の中、地域や関係機関等と連携しながら「夢いっぱい　笑顔がつづく　戸三小」を目指しています。